

LEGAL FRONTIER

K's Frontier

OBERON

Nihon  
Mobility Service

KONE

Best Gear

Klepto

rokka Gapporo

MAVIC

CATACLEAN

大塚技研

D.B.P

Kingelt

PETRONAS  
Syntium

KTM



RACE REPORT

**SuperTaikyū**  
Japanese Endurance Race

2026 Round.04

**SUGO**

Qualify : JULY 5 / 1st RACE : JULY 5 / 1st

## PRACTICE

JULY 2-3 [THU - FRI] RAIN - CLOUDY / WET - DRY

開幕からここまで、毎戦トラブルやアクシデントに見舞われ悔しいシーズンを送ってきたKs フロントニア KTM カーズ。捲土重来を期する第4戦の舞台は、宮城県のスポーツランド SUGO だ。なお今回は、エントリーリストに登録されていたものの高橋一穂は都合により欠場。井田太陽、加藤寛規、吉本大樹という3人で4時間のレースを戦った。

迎えたレースウィーク初日となる7月2日(木)は4回の特別スポーツ走行が用意されていたが、この日は加藤寛規のみがドライブし、週末に向けた準備を進める予定となっていた。ただ、午後は雨に見舞われる予報もあったため、急遽予定を早め1本目のみ走行。初日を終えた。

明けた7月3日(金)は午前9時から専有走行1回目が行われたが、前日までの雨が残り路面はウエット。加藤と吉本だけがステアリングを握り周回した。続く午後0時45分からの専有走行2回目は、ようやく路面が乾きドライコンディションに。吉本から走行を開

始し井田に交代。最後は加藤が走り走行を終えた。

第3戦富士24時間で悩まされたベルトのトラブルも原因を特定したほか、近年悩まされていたパワステの不安定さも原因を特定。ドライブのしやすさも手伝い、専有走行では、2回とも今季の3連勝で重いサクセスウエイトを積むライバルの#47 ボルシェを先行し、2日間の走行を終えることになった。



## QUALIFY

JULY 5 [FRI] RAIN / WET

今回の第4戦は、7月4日（土）はST-1クラスの走行はなく、7月5日（日）にノックアウト形式で公式予選が行われた。

当初は曇りの予報だったこの日のSUGOだが、朝から霧雨が降り、視界もあまり良くない状況で、10分遅れの午前8時10分からBドライバー予選のQ1が始まった。これに出走した加藤は、1分31秒601というタイムを記録。まずは順当にライバルの#47ポルシェを上回ってみせた。

これでシンティアム アップル KTMはQ2のA組に進出するとともに、ポールポジション獲得が確定することになった。

続くAドライバー予選では、井田が滑りやすいコンディションのなか1分36秒491というタイムを記録し、予選を終えた。

続くC/Dドライバー予選には、吉本大樹が出走し決勝レースを見据えた走行を行う予定だったが、Q2終了後霧が濃くなり、10分間のディレイの後キャンセルに。走行できないまま決勝を迎えることになった。



## RACE

JULY 5 [SUN] CLOUDY / DRY



公式予選から約3時間のインターバルで迎えた4時間の決勝レース。午後1時からのスタートを前に、SUGOはやや霧が晴れ雨もほとんど止むことに。ただコースはレコードライン以外は濡れている状況で迎えることになった。

シンティアム アップル KTMのスタートドライバーを務めたのは、予選では走行できなかった吉本。ただまったくそんな影響を感じさせずスタートからトップを守ると、ジワジワと#47ポルシェとのギャップを広げていった。

吉本は序盤、長いスティントを走り50周を終え最初のピットインを行う。#47ポルシェもその1周前にピットインしており、2台の差は1周とまではいかないものの、大きなギャップを築くことができていた。

交代しシンティアム アップル KTMに乗り込んだのは加藤。この頃にはふたたび細かい粒の雨がサーキットに降りはじめ、霧がかかり視界も悪くなっていたが、加藤は安定したペースで走行を続けることに。#47ポルシェも若手ドライバーをこのスティントで起用していたが、加藤は寄せ付けぬ走り続けた。

霧もすぐに晴れ、加藤は着実なペースでレースを進めていくと、97周を終えピットイン。井田が乗り込み、Aドライバーに課せられたスティントを消化していった。ただ、実は井田はこのSUGOを苦手としている。これまでも数々のクラッシュを喫しており、昨年もそれでレースを落としていたが、今季はノーマスで自らの41周のスティントを消化。最後を加藤に託した。

レース終盤にはふたたび視界が悪くなるなか、加藤は着実にシンティアム アップル KTMをゴールに導いた。今シーズン苦しみ抜いたシンティアム アップル KTMにとって、待望の今季初優勝だ。

もちろんライバルの#47ポルシェは80kgのサクセスウエイトを積んでおり、もともと地力の速さで分があったシンティアム アップル KTMが優位なレースウイークだったことは間違いない。トラブルさえなければ優勝は手中にできる可能性が大きかった。

とはいえ、チーム一丸となってしっかりとポテンシャルを出し切って掴んだ今季初勝利は、チームにとって何よりの妙薬と言えた。Ks フロンティア KTM カーズは、この勢いを繋げるべく次戦に臨む。



## DRIVER COMMENTS



Taiyo IDA 井田 太陽

「とにかく今週は天候が大変なレースウィークでしたが、スピンをする可能性がいっぱいある中で『今回こそは』と思って慎重に頑張りました（苦笑）。ここは個人的にたくさんぶつかっているコースですからね。また今回はトラブルがなかったのが本当に良かったです。それさえなければしっかり戦えますし、もう少し早く勝てるはずでしたからね。後半戦もまた勝てるよう、次戦以降も頑張っていきたいと思います」



Hiroki KATO 加藤 寛規

「ひさびさにちゃんとしたレースをできました。自分たちはトラブルなく、ペナルティなく順当にレースを進められましたが、冷静に考えてみると、#47 ポルシェは今季全勝で、ウエイトを 80kg 積んでいる状態ですからね。だから嬉しさ半分、悔しさ半分という気持ちです。勝って当たり前のシチュエーションでしたからね。とはいえ、今季初優勝ができましたし、後半戦に向けた良いきっかけになればと思います」



Hiroki YOSHIMOTO 吉本 大樹

「ノートラブルで全員がミスなく戦うことができたおかげで、大勝することができました。もちろん相手もこれまでの結果で 80kg のウエイトを積んでいるので、その中でトラブルで落とすようなことはしてられないですからね。今回、しっかりクルマを直してくれたチームに感謝したいと思います。また今回は高橋さんが都合で参加できなかったため、次戦は高橋さんと 4 人で勝てるように頑張りたいと思います」





# Round.4 RESULTS



## ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第4戦 **SUGO SUPER TAIKYU** **4Hours Race 2026.7.4-5**



No.37

BRIDGESTONE ENEOS ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第4戦 SUGO スーパー耐久4時間レース  
主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ (SRSC) 公認：一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)  
後援：公益社団法人 宮城県観光連盟/村田町/名取市/栗田町/大河原町/蔵王町/川崎町/河北新報社/岩沼市観光物産協会

### ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第4戦 SUGO スーパー耐久4時間レース Gr-1 決勝 ST-1 正式結果表

主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ (SRSC)

START : 12:58:02

FINISH : 16:58:51

発表 / 8:15

Pos	No.	Team Type	A Driver		B Driver		C Driver		D Driver		Lap	Total Time Delay
			Best Time	Lap	Best Time	Lap	Best Time	Lap	Best Time	Lap		
1	2	シテイルム 777 & KTM KTM GT-X	井田 太陽 1' 27.469 (41)	加藤 真規 1' 26.239 (69)	高橋 一穂 出走せず	吉本 大樹 1' 25.452 (50)	160	4h01' 14.506				
2	47	D'station Porsche 992 Porsche 992 CUP CAR	浜 健二 1' 28.592 (43)	星野 辰也 1' 29.838 (19)	田中 哲也 1' 26.908 (49)	榊木 大河 1' 27.524 (47)	158	4h02' 11.280	2 Laps			

以上完走

参加台数: 2台 出走台数: 2台 完走台数: 2台

完走周回数 112周

Fastest Lap: 2 シテイルム 777 & KTM 1' 25.452 4/160 151.095km/h

計時委員長

石田 雅

大会競技長

松本 浩

審査委員長

水野 雅男